

# 第20回 医療の質・安全学会学術集会

パネルディスカッション25 11月9日（日）13:20～14:50

## 多職種連携で取り組む持続可能なポリファーマシー対策 ～薬物関連問題の解消と医療の質向上に向けて～

ポリファーマシー（多剤投薬）は、薬物有害事象、ADLの低下、服薬アドヒアランスの不良を引き起こし、医療の質と安全に重大な影響を与えます。本セッションでは、服薬簡素化、向精神薬・リハビリテーション薬剤の最適化、多職種連携による転倒・転落リスクの軽減、知的障がい者施設における課題など、現場での多様な実践から、参加された皆様と一緒に**持続可能なポリファーマシー対策**を共有したいと思います。

【座長】 渡邊 幸子（白岡中央総合病院） 武藤 浩司（新潟市民病院）

【演者】

竹屋 泰（大阪大学）

持続可能なポリファーマシー対策～服薬簡素化と多職種連携～

別所 千枝（尾道総合病院）

安全に視点を置いた向精神薬のポリファーマシー対策

中道 真理子（原土井病院）

多職種ポリファーマシー委員会による転倒転落防止への期待～リハ薬剤の視点～

上野 正文（中井やまゆり園）

知的障がい者施設におけるポリファーマシーの現状と問題点



サステイナブルな質の改善と患者安全